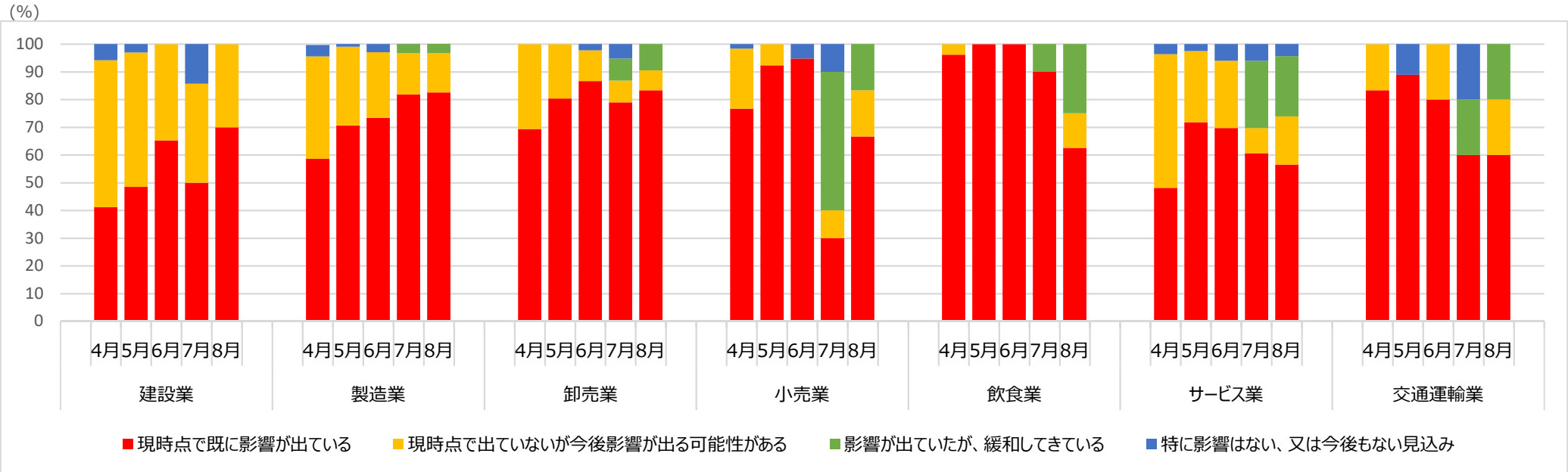


新型コロナウイルス感染症の市内経済への影響（令和2年8月度調査）

※市内企業へのアンケート、ヒアリング調査結果から

飲食業、サービス業などの一部で緩和の動きが見られるものの、製造業、卸売業などは依然として影響が大きい状況となっています。



(令和2年8月度 複数回答)

内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業	交通運輸業
製品・サービス等の受注・売上減少	70%	93%	93%	58%	38%	83%	100%
自社の生産拠点・仕入れ先の変更による調達コスト増	0%	4%	2%	0%	0%	4%	0%
サプライチェーンへの打撃による製品等の納期遅れ	20%	8%	21%	25%	0%	4%	0%
消費マインドの悪化に伴う客数減少	10%	15%	10%	17%	88%	22%	40%
従業員の休暇取得に伴う人手不足による企業活動の停滞	0%	5%	5%	0%	13%	0%	0%
従業員や顧客の感染予防策等に伴うコスト増	10%	13%	7%	25%	25%	22%	40%

アンケート及びヒアリング調査を通じた市内企業からの主な声

- ・県外への往来自粛が出張を必要とする業務に影響を及ぼしている（製造業）
- ・年明けまで影響がありそうなので、継続的な支援策があると助かる（製造業）
- ・コロナ禍前の受注が遅れて出てきている。売上が落ちるのはこれから（製造業）
- ・家庭用中心の卸売部門は好調となっている（卸売業）
- ・業務用は売上・受注量が減少し始めている（卸売業）
- ・この状態がいつまで続くかわからないので心配（小売業）
- ・このままの状況が3月位まで続くと飲食業は廃業・倒産に繋がるだろう（飲食業）